



PRESS RELEASE

報道関係各位

2020年4月1日

カリフォルニアワイン・バイザグラス・プロモーション 2020 開始 2020年4月1日(水)～5月31日(日)全国で

カリフォルニアワイン協会(California Wine Institute、略称CWI)は、2020年4月1日(水)に、全国で「カリフォルニアワイン・バイザグラス・プロモーション 2020」を開始しました。

バイザグラスとは、レストランなどの料飲店で、ワインをボトル単位ではなくグラス単位で販売することです。プロモーション参加店は4月から5月の任意の3週間以上、常時3種類以上のカリフォルニアワインをグラスで販売します。

本年1月1日に発効した日米貿易協定により段階的に関税が引き下げられるカリフォルニアワインに期待が集まる中、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、東京での試飲商談会を中止しました。商品仕入れの機会喪失や消費者の外出自粛などの逆境にも拘わらず、多くの飲食店がプロモーションに参加登録し、準備を整えて来ました。カリフォルニアワイン協会は、これらの店舗を可能な限り応援すべく、今回の実施に踏み切りました。

4月1日現在、複数の地域で外出自粛を要請していることを受け、特設サイトでは、各地方自治体の要請に従って行動するよう、消費者に注意喚起しています。但し、政府による緊急事態宣言が出された場合は、実施中のプロモーション及び消費者キャンペーンを中止します。今後の動きについては、下記リンクの特設ウェブサイトで告知します。<https://calwines.jp/btg20/>

「カリフォルニアワイン・バイザグラス・プロモーション」は、カリフォルニアワイン協会が毎年継続して実施している施策で、今年で26回目となります。複数の参加店が競って良い成果を出そうと努力するため、期間限定の特別企画や、通常ボトル販売される高級ワインのグラス提供など、毎年消費者の楽しみとして定着しています。昨年からの対象地域を全国に広げたことにより、ファン層の拡大が進みました。

「カリフォルニアワイン バイザグラス プロモーション 2020」の詳細は、特設ウェブサイトより確認できます。

カリフォルニアワイン協会(本部・カリフォルニア州サンフランシスコ)は、1,000社を超えるカリフォルニアのワイナリー及びワイン関連企業から構成される非営利団体で、ワインの生産や流通や消費に関する政策的な提言を行っています。輸出プログラムにおいては、世界13カ国に事務所を置き、重要な市場情報の提供及びプロモーションを支援しています。ワイン業界関係者・メディア・消費者向け試飲会の実施などをサポートしており、毎年175以上のカリフォルニアのワイナリーが当プログラムに参加、142カ国にワインを輸出しています。日本事務所は、カリフォルニアワインの普及促進、日本市場における関税、非関税障壁の監視などを目的に1985年に設立されました。

以上

この件に関する読者からのお問合せ先
カリフォルニアワイン協会日本事務所
E-mail: info@calwines.jp
電話番号: 03-3208-5672

この件に関する報道関係者様からのお問合せ先
KONDO SAORI OFFICE 近藤 さをり
E-mail: saori@saorikon.com
電話番号: 080-7011-5747